

令和4年度海外研修事業について

開拓後継者、開拓組織の実務担当者等の国際感覚の涵養と農業経営の向上に資するため、海外研修を実施しています。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により2年間海外研修事業は中止していましたが、今年度は新たな試みとして、映像視聴による海外研修を実施しました。

1. 研修地域の概要

豪州クイーンズランド州グレートディバイディング山脈の標高400～600mのアサートン高原に位置する三つの農場です。

観光都市ケアンズにも近いアサートン高原の広大な土地は天候にも恵まれており、様々な農業が行われています。

今回は肉牛、野菜、酪農の3農場の取り組みを紹介しました。

2. 視察研修

①肉牛：テルパラヒルズ

テルパラヒルズは1964年に設立された繁殖と肥育を行う家族経営の農場です。育種改良を行い受精卵販売、種雄牛の販売も手掛けています。

渋谷区と同等の広さの農場で約1,600頭の牛を飼育しています。動物福祉の観点から牛にストレスを与えないよう工夫された施設や、オーストラリアならではの大規模な設備を見ることができます。

②野菜：春の雫農園

荒井貴成（あらいたかしげ）さんは、日本からオーストラリアへ移住して有機農業を営んでいます。

有機栽培農場で6年間研修し、現在はマランダというところで日本野菜を中心に有機無農薬栽培とその販売を行っています。

季節の野菜6品目を入れた野菜ボックスを作り、地元で直接顧客を開拓し、野菜を提供しています。

オーストラリアで農業を始めるきっかけとなったお話から、どのようにして自分の畑を持つに至ったのかまで、様々なお話を聞くことができました。

③酪農：マンガリ

マンガリはアサートン高原のミラミラというところに位置し、酪農を家族経営で行っています。バイオダイナミック農法によりユニークなアイスクリーム

など製品を提供しています。

バイオダイナミック農法は、土壌、動物、環境、そして人間の健康的な関係を維持することに焦点を当てた農法です。農場を単なる牛や牧草地として捉えるのではなく、1つの大きな生き物であると捉えています。

おいしくて栄養価が高い製品を作るだけでなく、地球環境の再生に役立つ農場にするために革新的な方法を探して努力を続けています。

3. 映像視聴

令和4年12月15日から28日まで映像配信による研修を実施しました。